

水 稲 (除 草) 効果安定・薬害防止のため、田んぼの均平化を心掛け、代かき・植え付けは丁寧にいきましょう。

【令和6年1月1日現在の農業登録内容】2024版

使用体系	農薬名	区分	使用量	使用時期	使用回数	
一発剤	トップガンR1キロ粒剤		1kg/10a	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1回	
	湛水散布。一年生雑草から多年生雑草まで幅広く効果を示す。また、SU抵抗性雑草にも有効。					
	バッチリLX1キロ粒剤		1kg/10a	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	1回	
	湛水散布。田植え同時散布可能。 効果の発現が非常に速く長期間持続。SU抵抗性雑草や多年生難防除雑草にも有効。					
	カチボシ1キロ粒剤51		1kg/10a	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	1回	
	湛水散布。田植同時処理が可能で、ノビエに対して長期残効性を示す。					
初期剤	サキガケ薬粒		250g/10a	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1回	
	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用。拡散性製剤のため、水田に入らずに散布でき労力軽減になる。ノビエに長期残効を示し、広葉雑草等にも有効。但し、散布時はやや深め(水深5～6cm)の湛水状態を保って散布し、散布後少なくとも3～4日は通常の湛水状態(3～4cm)を保ちましょう。					
	メテオ1キロ粒剤		1kg/10a	植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期 但し移植後30日まで	2回	
	湛水散布。移植前散布の場合は、植代後土が落ち着いてから散布する。					
	中期剤	ツイゲキ1キロ粒剤		1kg/10a	移植後14日(イネ5葉期以降)～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	1回
		湛水散布。ノビエ、一年生雑草、多年生雑草など幅広い雑草に効果があります。花茎が抽出したホタルイ(※効果安定のため草丈15cmまでに使用)や生育ステージの進んだクログワイやオモダカにも有効。				
ヒエクツパエース1キロ粒剤			1kg/10a	移植後14日～ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	2回	
湛水散布。ノビエに高い効果を示す。						
後期剤	ワイドアタックD1キロ粒剤		1kg/10a	移植後15日～ノビエ5葉期(イネ4葉期以降) 但し、収穫60日前まで	1回	
	湛水散布。一年生雑草、多年生雑草に幅広く効果がある。					
	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)		3～4kg/10a	移植後15～55日 但し、収穫60日前まで	1回	
	落水散布または、ごく浅く湛水して散布。雑草発生部分のみに散布も可(1㎡3g)。ノビエには効果がない。					
その他	クリンチャーバスME液剤		1000mℓ/10a 希釈水量(70～100ℓ/10a)	移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	2回	
	落水散布または、ごく浅く湛水散布。					
	ヒエクリーン1キロ粒剤		1kg/10a	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	1回	
	湛水散布。ノビエに高い効果を示す。散布時期を逸しないようにする。					
その他	モゲトン粒剤		2～3kg/10a	発生始～発生盛期 但し、収穫45日前まで	3回	
	ウキクサ類、藻類(アオミドロ、アミドロ)に効果がある。					
	ロイヤント乳剤		200mℓ/10a 希釈水量(25～100ℓ/10a)	移植後20日～ノビエ5葉期(但し、収穫45日前まで)	2回	
落水散布またはごく浅く湛水して散布。散布2時間後の雨でも効果を発揮する。5葉期のノビエと大きな広葉雑草、イボクサ、クサネムなどに優れた効果がある。(ホタルイ、クログワイには効果が劣るので、それらが混在する圃場では有効な除草剤と組み合わせ使用する。)						

体系処理について

中期以降に雑草が残る水田においては、体系処理を行う。 体系処理例 メテオ1キロ粒剤 → ワイドアタックD1キロ粒剤

倒伏軽減剤	スマレクト粒剤		2～3kg/10a	出穂7～20日前、湛水散布	1回
水田の後作に野菜を作付しない。					

本田への粒剤散布の場合は、掛け流し状態を避け、7日間止め水にして湛水状態を保つ。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」